

1.業績

主要前提

	H18/3	H19/3
為替レート	111 円 / 米 \$	116 円 / 米 \$
ナフサ単価(国産)	42,400 円 / KL	50,000 円 / KL

損益計算書

	H18/3	H19/3	増減	
			金額	率
売上高	24,089	26,228	2,139	8.9%
営業利益	1,336	1,286	50	3.8%
金融収支	50	62	12	
その他営業外	21	37	16	
持分法損益	129	152	23	
経常利益	1,436	1,413	23	1.6%
特別損益	285	35	250	
税引前利益	1,151	1,378	227	19.8%
法人税等	203	334	131	
少数株主損益	92	41	51	
当期純利益	856	1,003	147	17.3%

(参考)

業績予想 (11/9公表)
26,000
1,270
60
5
135
1,350
20
1,330
310
40
980

*特別損益の主な内訳

投資有価証券売却益	66
固定資産売却益等 他	48
固定資産整理損失等	60
関係会社整理損	31
その他	58

*法人税等

自己株式の取得に伴う税金費用の減少21.8億円を計上しております。

セグメント別売上高

	H18/3	H19/3	増減
石化	10,873	12,464	1,591
機能商品	8,747	9,252	505
機能化学	5,015	5,257	242
機能材料	3,732	3,995	263
ヘルスケア	3,126	3,047	79
その他	1,343	1,465	122
合計	24,089	26,228	2,139

(参考)

売値差	数量差	その他差
1,361	156	74
88	507	86
128	313	57
40	194	29
137	58	0
1	12	133
1,137	709	293

セグメント別営業利益

	H18/3	H19/3	増減
石化	337	282	55
機能商品	658	593	65
機能化学	430	350	80
機能材料	228	243	15
ヘルスケア	362	396	34
その他	90	106	16
コーポレート	111	91	20
合計	1,336	1,286	50

(参考)

売買差	数量差	合理化固定費差	その他差
11	51	27	90
147	160	7	71
90	98	17	71
57	62	10	0
132	99	67	0
1	21	6	0
267	331	47	161

注) 組織改正に伴い、セグメントの名称や一部事業・子会社の所属セグメントを変更しており、前年実績値も組替えております。

貸借対照表

	H18/3末	H19/3末	増減
流動資産	9,884	11,458	1,574
固定資産	7,088	7,598	510
投融資等	4,294	4,132	162
資産計	21,266	23,188	1,922
流動負債	8,912	10,107	1,195
固定負債	5,105	5,493	388
純資産	7,249	7,588	339
(うち自己資本)	(6,561)	(7,122)	(561)
負債・純資産計	21,266	23,188	1,922

(増減の主な内訳)

総資産: 期末休日影響(631)他による営業債権増加、たな卸資産増加(449)、固定資産増加(510)

負債: 期末休日影響(370)他による営業債務増加、有利子負債増加(除く割手 1,030)

純資産: 当期純利益(1,003)、配当金(206)、少数株主持分減少(228)、自己株式取得に伴う税金費用(221)

自己資本比率	30.9%	30.7%	0.2%
有利子負債(含割手)	6,399	7,433	1,034
D/Eレシオ	0.98	1.04	0.06
負債・純資産比率	-	0.98	-

注) 自己資本: 純資産の部合計 - 新株予約権 - 少数株主持分
D/Eレシオ = 有利子負債(含割手) / 自己資本
負債・純資産比率 = 有利子負債(含割手) / 純資産

キャッシュ・フロー

(億円)

(参考)

	H19/3
営業活動によるCF	633
投資活動によるCF	1,334
フリー・キャッシュ・フロー	701
財務活動によるCF	745
(うち配当金の支払)	(206)

(注) 税前利益(1,378)、減価償却費(833)、営業債権債務(353)他
設備投資(1,141(設備債務含む))、投融資(451)、資産処分他(258)

有利子負債増加(997)他

(注) 営業活動によるCFには以下を含みます。

- ・期末休日影響による営業債権債務増加: 261億円
- ・自己株式取得に関連する源泉税支払: 275億円

H18/3
1,798
744
1,054
972
(196)

2. 次期業績予想

主要前提

	H19/3	H20/3(予想)	(内中間期)	
為替レート	116	115	115	円/米\$
ナフサ単価(国産)	50,000	55,000	55,000	円/KL

	H19/3	H20/3(予想)	(内中間期)	増減
売上高	26,228	29,000	13,700	2,772
営業利益	1,286	1,480	610	194
金融収支	62	90	40	28
その他営業外	37	50	30	87
持分法損益	152	110	50	42
経常利益	1,413	1,450	590	37
特別損益	35	1,080	60	1,115
税引前利益	1,378	2,530	530	1,152
法人税等	334	540	220	206
少数株主損益	41	130	0	89
当期純利益	1,003	1,860	310	857

(参考)

実質増減	減価償却 制度変更	再編関連 (医薬/機材)	再編関連 (自己株式)
2,772			
340	107	39	
22		6	
87			
39	3		
192	110	45	0
17		1,132	
175	110	1,087	0
52	43	21	218
116		27	
7	67	1,135	218

セグメント別売上高予想

(億円)

	売上高			
	H19/3	H20/3(予想)	(内中間期)	増減
石化	12,632	13,900	6,800	1,268
機能商品	9,084	9,300	4,600	216
機能化学	5,257	5,300	2,600	43
機能材料	3,827	4,000	2,000	173
ヘルスケア	3,047	4,100	1,600	1,053
その他	1,465	1,700	700	235
合計	26,228	29,000	13,700	2,772

(注) H19/3月期: 連結子会社1社の所属セグメント組替後(機能材料 石化)

営業利益実質増減の主な要因
(対H19/3月期)

(概算: 億円)

実質増減	340
売買差	150
数量差	290
合理化・固定費差	100
その他差	300

セグメント別営業利益予想

(億円)

	営業利益			
	H19/3	H20/3(予想)	(内中間期)	増減
石化	291	330	150	39
機能商品	584	600	270	16
機能化学	350	360	160	10
機能材料	234	240	110	6
ヘルスケア	396	580	210	184
その他	106	100	40	6
ユーホレト	91	130	60	39
合計	1,286	1,480	610	194

(注) H19/3月期: 連結子会社1社の所属セグメント組替後(機能材料 石化)

(参考)

実質増減	減価償却 制度変更	再編関連 (医薬/機材)
81	42	
65	38	11
37	27	
28	11	11
222	10	28
3	3	
25	14	
340	107	39

3. 配当の状況

		H18/3	H19/3	H20/3(予想)
1株当り配当金	中間		7円	8円
	期末	8円	7円	8円
	合計	8円	14円	16円
配当金総額(個別) (百万円)	中間		9,591	
	期末	14,436	9,588	
	合計	14,436	19,179	
1株当り当期純利益	期末	69円51銭	73円25銭	135円82銭
配当性向(連結)	合計	※ 11.5%	19.1%	11.8%
純資産配当率(連結)	合計	2.3%	2.8%	

※ H18/3中間期は、三菱化学㈱が1株当り3円の配当を実施しており、当社1株当りに換算した実質6円を使用した場合、H18/3期の配当性向は20.1%です。

(株式割当比率:三菱化学㈱株1株につき0.5株)

4. その他

①連結範囲

(会社数)

	H18/3	H19/3	増減
連結子会社	168	171	3
国内	103	104	1
海外	65	67	2
持分法適用会社	83	80	△3
合計	251	251	0

主要新規会社名

㈱協和ビジネス 他3社
マイテックス・ポリマーズ社 他6社
無錫積菱塑料社 他4社

主要除外会社名

㈱九州メディカルサイエンス 他2社
アイシー・ウェック社 他4社
東和コンパウンティング㈱ 他7社

②設備投資額・減価償却費・研究開発費

	H19/3	H20/3(予想)	増減
設備投資額	1,309	1,800	491
減価償却費	833	1,070	237
研究開発費	912	1,110	198

5. トピックス

①プラント新增設

(石化)

- 三菱化学㈱が、黒崎事業所(福岡県北九州市)において、ポリカーボネート樹脂製造設備の増設(年産6万トン)、及び中間原料であるジフェニルカーボネート製造設備の増設(年産10万トン)を決定。(4月)
- 三菱化学㈱が、水島事業所(岡山県倉敷市)において、オレフィン・アロマセンター競争力強化のための原料多様化対応設備設置を決定。(4月)
- 寧波三菱化学社が、中国・浙江省大榭開発区において高純度テレフタル酸製造設備の建設を完了、営業運転開始。(2月)

(機能商品)

- 三菱化学㈱が、四日市事業所(三重県四日市市)において重合トナーの生産開始。(6月)
- 三菱化学ポリエステルフィルム㈱が、滋賀事業所(滋賀県米原市)において、工業用フィルム新ラインの稼働を開始。(7月)
- 三菱化学産資㈱が、坂出製造所(香川県坂出市)にアルミナ繊維製造設備を新設、稼働開始。(11月)

②事業提携・再編等

(石化)

- 三菱化学㈱が、エクソンモービルケミカル社からポリプロピレン樹脂コンパウンド製造販売会社マイテックス・ポリマーズ・ジェネラル・パートナーシップ社(米国・インディアナ州)、及びマイテックス・ポリマーズ・アジア・パシフィック社(シンガポール)における同社の株式所有分を買い取り、両社を三菱化学㈱100%出資化。(6月)

(機能商品)

- 機能材料分野に関し以下の施策を行うことを決定。(2月)
 - 三菱化学㈱による三菱樹脂㈱の株式に対する公開買付けを実施
 - 平成19年9月下旬を目処に当社が保有する三菱樹脂㈱の株式を三菱ケミカルホールディングス(MCHC)に移管し、公開買付けにより取得できなかった三菱樹脂㈱株式会社については平成19年10月1日を効力発生日としてMCHC株式を対価とする株式交換を実施し、100%子会社化
 - 三菱樹脂㈱、三菱化学ポリエステルフィルム㈱、三菱化学産資㈱、三菱化学エムケーブイ㈱、および三菱化学㈱が行っている機能材料分野の事業を、平成20年4月1日を目処として統合

(ヘルスケア)

- 三菱ウェルファーマ㈱を中心とする当社グループが、米国・マサチューセッツ州ボストンに将来の画期的新薬の創製に向けた創薬ターゲットやそのために必要な技術の提携および導入を目的として、創成期のバイオベンチャー企業に投資を行なう新会社を設立。(8月)
- 三菱ウェルファーマ㈱が、中国・北京市において医薬品開発を目的とした三菱製薬研究(北京)有限公司を設立。(10月)
- 三菱ウェルファーマ㈱が、田辺製薬㈱との間で、2007年10月1日付で合併することで基本合意。(2月)

(その他の部門)

- 当社の連結子会社である三菱化学㈱及び三菱ウェルファーマ㈱から、当社株式を取得。(9月)
- 三菱化学㈱が、四日市事業所内に、自動車分野を中心としたポリマー関連の開発を促進するため、実験棟、混練棟、成形棟、及びカスタマーラボからなる「四日市未来創造館」を設置。(3月)